

JICA 課題別研修に伴うサヘル諸国及び周辺国の地方行政官による 吉松副知事表敬訪問の実施について

表 敬 概 要

JICA（独立行政法人国際協力機構）による、サヘル諸国及び周辺国の幹部地方行政官を対象とした、地方行政能力強化による強靱な地域・社会形成の研修実施にあたり、その一環として吉松副知事への表敬訪問を実施します。

- | | |
|---------|---|
| 1 日 時 | 令和8年9月7日（月） 15:00～15:20 |
| 2 場 所 | 県庁北館2階 第1会議室 |
| 3 訪 問 者 | サヘル諸国及び周辺国の幹部地方行政官 11 名、
JICA、ひろしま国際センター 同行者 9 名 |
| 4 次 第 | JICA 中国所長挨拶
吉松副知事歓迎の挨拶
訪問団代表挨拶
記念品贈呈
記念撮影 |

※言語：英語（日本語⇄フランス語、逐次通訳あり）

サヘルとは

アラビア語で岸辺を意味する「サーヒル(Sahil)」が語源で、サハラ砂漠の南縁に沿って、大西洋から紅海まで東西に延びる広大な地域のこと。サヘル地域は北のサハラ砂漠より比較的湿潤で、半乾燥草原から灌木の茂るサバナへの移行地帯にあたり基盤は脆弱なものの緑に覆われた土地であった。そのため語源が示す通りサブサハラ世界の北岸として、サハラ砂漠を縦断するサハラ交易を通じガーナ王国やマリ帝国、カネム・ボルヌ帝国などの国家が繁栄し、歴史的に「スーダン」と呼ばれた地域の中核的な役割を果たしてきたのである。しかしその後は深刻な砂漠化やサハラ交易の衰退などの問題に直面している。

現在サヘル地域に存在する国家は西から順に、セネガル、モーリタニア、マリ、ブルキナファソ、ニジェール、ナイジェリア、チャド、スーダン、南スーダン、エリトリアである。

サバクトビバッタが発生しやすく、しばしば蝗害による飢饉に陥ることがある。2004年には西アフリカ一帯でサバクトビバッタの大量発生（2004年）が生起し、地域に甚大な被害をもたらした。

主に、ミレットやソルガム、トウモロコシ等の穀物を育てている。灌漑施設が殆ど普及していないため、雨水に頼っている。

サヘル諸国では、1990年代の民主化以降も政変やクーデタが繰り返し発生し、民主主義の定着及びガバナンスの強化が不十分な政治的脆弱性を抱えている。また、2010年代からテ集団が急速に伸長し、脅威が広く拡散することで地域全体の治安が悪化している。さらにサヘル諸国は、従来から都市部と農村部の開発格差が大きく、特に地方は開発予算に乏しく、地方自治体は複合的な危機に対し、効率的な行政サービスを提供することが困難な状況が続いている。このような状況を前に、住民は国から見捨てられたという感情を抱き、特に若者を暴力的過激主義に追いやるなど、コミュニティのレジリエンスが弱体化している。

本研修は、サヘル諸国・周辺国における地域社会の再建に向けた平和構築の取り組みと、その中で幹部地方行政官の果たすべき役割の理解促進とリーダーシップの育成を目指すものである。

広島での主な日程

日程	内容
9/2(水)	広島着
9/3(木)	オリエンテーション
9/4(金)	研修(JICA)
9/5(土)	〃
9/7(月)	広島平和記念資料館見学等
	吉松副知事表敬
9/8(火)	研修(東広島市)
9/9(水)	研修(世羅町)
9/10(木)	広島発

※全研修期間：令和8年9月2日～9月15日（研修場所：広島、東京）

